

# ITARDA INFORMATION

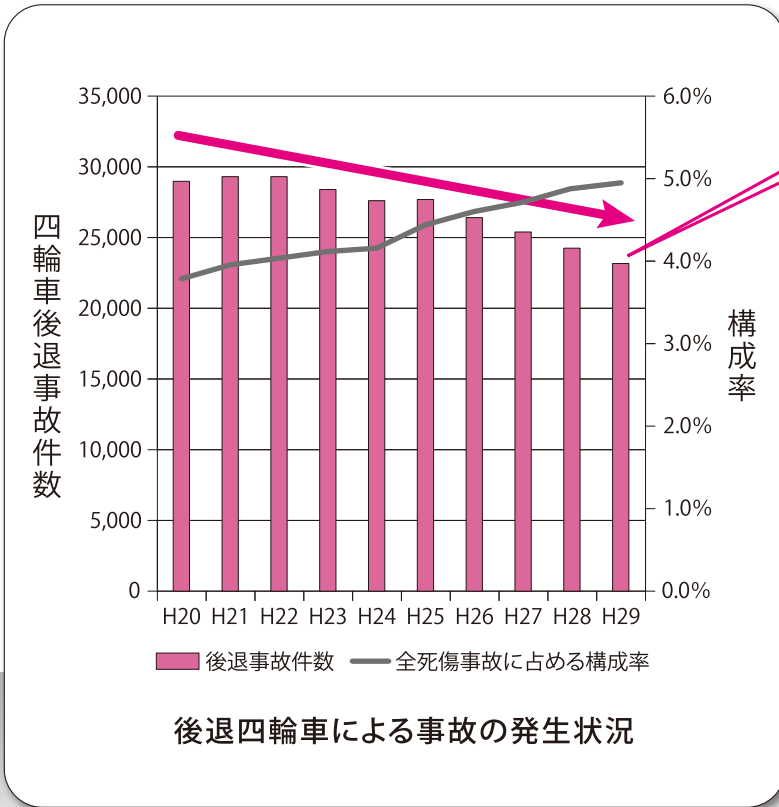
## 交通事故分析レポート

No.128

特集

### 四輪車後退時の事故

～特に駐車場では確実な後方確認の実施を!～



件数は徐々に減少!



- ① はじめに.....P2
- ② 後退事故により弱者が死傷した事故の統計分析.....P4
- ③ 事故事例データによる分析.....P6
- ④ 事故事例の紹介.....P7
- ⑤ まとめ.....P8

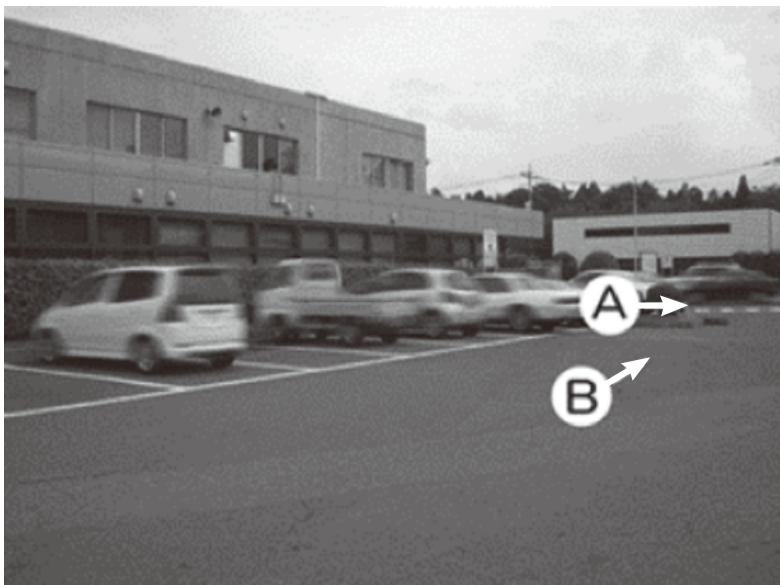
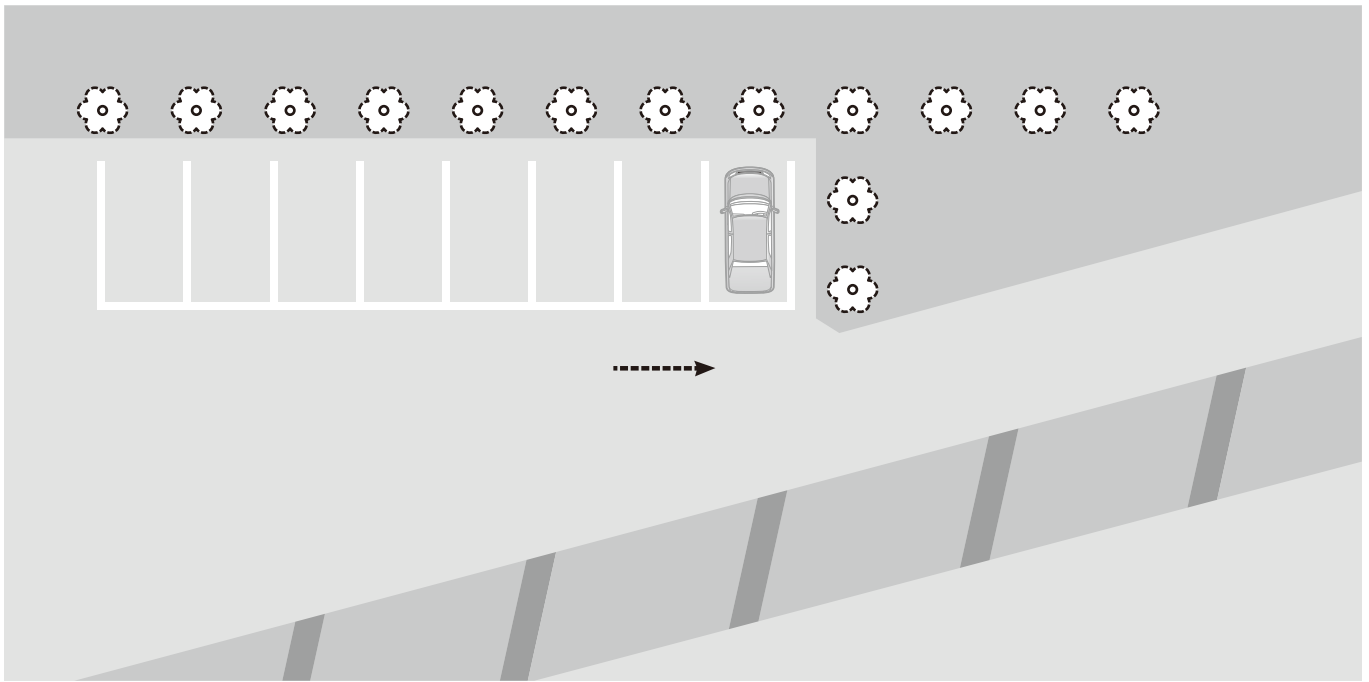












## 4 まとめ

四輪車の後退時に弱者と衝突した後退事故に関する分析の結果、以下の点が判明しました。

### ■後退車両の速度

5km/h前後の比較的低速の事故が多い。

### ■後退事故の発生場所

歩行者は駐車場内や出入り口付近で歩行中に事故に遭っており、自転車と二輪車は単路や交差点(付近含む)を走行中に事故に遭っている。

### ■後退事故の被害弱者の年齢

死亡重傷に至るような事故では主に高齢者が被害に遭っており、軽傷事故では自転車と歩行者は青壮年層と高齢層が多く、二輪車は青年層をピークに広い年齢層に分布している。その一方で事前の予想に反して、幼い子供たちの被害はそれほど多くない。

### ■後退四輪車の運転者年齢

特に危険あるいは安全といえる年齢層はなく、全年齢層の運転者が後退事故を起こしている。

冒頭に紹介しましたが、近年は後退事故の件数は減少しつつも全事故に占める構成率は上昇し続けており、対策の重要性が増していることが判りましたので、事故の実態を正しく把握するために統計分析とミクロ事例分析を実施しました。その結果、後退事故は主として「四輪車が駐車場関連施設内を比較的低速で後退する際に青年層以上の成人が被害に遭っている」ことが判りました。このような場面については事前の後方確認を確実にしていれば被害者の存在を認知して事故を回避できる可能性が高いといえます。また駐車枠に停める際に後退で駐車すれば出庫時よりも注意を払わなければならない範囲が狭くすむ場合が多いので、後退駐車を習慣づけることも事故の回避には有効と考えられます。最近バックカメラを搭載している車が増えていますので、ルームミラーやドアミラーに加えてこの機能を活用することも後退時の事故防止には有効です。更に最近では後退時に後方の移動物・人を検知して運転者に存在を教えてくれる機能も実用化が始まっていますので、このような装備の普及拡大にも期待したいと思います。

(木下 義彦)

イタルダイナフォメーションに関するお問い合わせ先 渉外事業課 TEL 03-5577-3973 FAX 03-5577-3980

## 公益財団法人 交通事故総合分析センター

●ウェブサイト <http://www.itarda.or.jp/> ●Eメール [koho@itarda.or.jp](mailto:koho@itarda.or.jp)  
●フェイスブック <https://www.facebook.com/itarda.or>

本部・東京交通事故調査事務所

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-8 住友水道橋ビル8階  
TEL 03-5577-3977(代表) FAX 03-5577-3980

つくば交通事故調査事務所

〒305-0831 茨城県つくば市西大橋641-1 (一財)日本自動車研究所内  
TEL 029-855-9021 FAX 029-855-9131